



蒜山高原（真庭市）

おかやま 労働

2013年
冬
No.460

目次

スキルアップして再就職しませんか？ 4月開講(6ヶ月コース)訓練生募集…	2	事業主支援ワークショップのごあんない ……………	11
「若者たちの就職面接会」を桃太郎アリーナで開催します!!…	3	企業の女性社員活躍推進関係 オーダーメイド研修のご案内…	12
平成25年度県立高等技術専門校の入校生募集 ……………	3	“どう叱る”“どう育てる”パワーハラスメントにならない指導のポイント…	13
子どもものづくり体験教室“おかやまのスコ技イン倉敷” ……	4	セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント防止研修は21世紀職業財団へお任せください!…	13
全国障害者技能競技大会(アビリンピック)岡山県選手入賞…	4	講演会「日本企業が女性人材を活用できない理由」	
平成24年度県立高等技術専門校作品展示即売会について…	5	～女性管理職になるとイコトある?～の参加者募集について…	14
多様な働き方を推進しています! ～岡山県～ ……………	6	平成24年度岡山県男女共同参画社会づくり表彰(事業者の部)について…	14
改正高年齢者雇用安定法への速やかな対応をお願いします!～平成25年4月1日から施行～…	8	「中小企業で働く皆さんを応援します」少ない負担で充実の福利厚生!…	15
高年齢者雇用確保措置の実施及び運用に関する指針 ……	9	県労委の動き ……………	15
犯罪被害者の方々のための休暇について考えてみましょう…	10	必ずチェック最低賃金!使用者も、労働者も。……………	裏表紙



多様な働き方を推進しています! ~岡山県~

岡山県マスコット ももっち うらっち

★ワーク・ライフ・バランスを推進されている企業の紹介

今回は、脳卒中や骨折、肺炎などの急性期経過後から慢性期患者を、医療と福祉のトータルマネジメントで受け入れる体制を整えた「医療法人誠和会 倉敷記念病院」さんをご紹介します。倉敷記念病院さんは平成23年度に「おかやま子育て応援宣言企業 岡山県知事賞」を、さらに倉敷市から「平成23年度男女共同参画社会づくり表彰」を受賞されています。総務部長の河田真治さんにお話を伺いました。

医療法人誠和会 倉敷記念病院

倉敷市中島831番地

社員数 男性 122名
女性 430名



建物全景

○出産後もいきいきと働ける環境を!

出産後の職員が職場復帰しやすい環境づくりに努めています。育児休業明けの職員に対して、職場復帰前には部署長や人事担当者が職員の要望を聞くとともに、休暇等の制度の説明を行っています。「子どもの世話が残り残業や夜勤は難しい」といった復帰への不安に対して、利用できる制度や就業場所が働きやすい環境となるよう一緒に考えます。

また、託児所を平成20年の2月に開設しました。それまでの施設ではスペースがとれなかったのですが、新たな施設を建築する際には職員からの要望を受け、託児スペースを設けました。現在定員は25名で、0歳児から就学前までの乳幼児を受け入れています。開設時間は、朝の8時から夕方6時で、7時まで延長保育を行っています。通りに面した大きな窓からは子ども達の様子を見ることもでき、出産後も安心して子どもを預けて働けると、職員の職場復帰支援のひとつとなっています。さらに、当法人へ職場見学に来られた方や面接、入社オリエンテーション時の託児も行っており、出産後の再就職も支援しています。



託児所で過ごす子ども達

○お互い様の精神で

特別休暇としては、平成19年度から誕生日休暇を、また、平成23年度から創立記念休暇を設けました。さらに、家族や子どもとふれあえる環境づくりを目指して、3連休のリフレッシュ休暇を設けました。これらの休暇は職員からの評判もよく、現在ほぼ100%取得されています。

休暇の取得については、従来から上司の方々が率先して休暇を取得してくれていたこともあり、職場全体も休暇を取得しやすい雰囲気が出ています。

また、業務の「申し送り」を行うなど、お互いに仕事を任せられるように情報の共有が図られています。毎週、全体朝礼や連絡会議を行うとともに、院内LANを活用しています。各部署でも打ち

合わせを綿密に行うようにし、情報の共有に努めています。仕事を分け合う、職員同士互いに支え合う、お互い様という精神が根付いていると感じます。

○もちろん男性も子育てします！

子どもの参観日や部活動の応援にあわせて有給休暇を取得するなど、男性職員も子育てに積極的に参加しています。男性の育児参加が特別なことではなく、自然なことで捉えられているように感じます。家族とのふれあいの時間がとれているお陰で、子どもも父親の帰りを心待ちにしてくれているのが、父親としてとても嬉しく思います。

○職員同士のつながりを！

福利厚生事業にも力を入れており、職員旅行では一泊旅行から日帰り旅行、子ども向けの旅行など数種類の旅行を企画しています。また、お祭りやボウリング大会など年間を通じてイベントも多く開催しています。バレーボールやテニス、フットサル、登山、バスケット、ゴルフ、ボウリング、有酸素運動部など部活動への補助も行っています。イベントや部活を通じて、普段の業務では接触のない職種同士の横の連携が生まれてきていると感じています。こうした活動が、職員のストレス解消にもつながっているようです。

○地域支援の取組みについて

病院のことを近くにあっても知らない、行ったことがないと言った地域の方からの声を受け、定期的に健康作り教室を開催するなど地域に開かれた病院を目指しています。また、小中学生の職業教育の一環として、小学校の学区探検や中学生のチャレンジワーク、ボランティアの受け入れを行っています。現場の職員の協力があってこそできることですが、参加した子ども達は、普段は目に見えない医療や介護の現場に目を輝かせています。「楽しかった」とか「将来はお医者さんになりたい」等いきいきとした感想を寄せてくれており、そういった子ども達の純粋な気持ちが、現場の職員への刺激になっていると感じます。

○職員満足度の向上に向けて

医療法人誠和会には病院から介護老人保健施設、有料老人ホーム、グループホームなど、様々な部署がありますが、その全体を総括する部として総務部を立ち上げました。その立ち上げを期に総務部の目標として「職員満足度の向上」を掲げました。そして、総務部では「職員の満足なくしてお客様の満足なし」という精神の具現化に取り組んでいます。医師や看護師など直接患者さんに接する職員は、患者さんや患者さんを取り巻く家族の方に満足を提供しています。私たち総務部は、患者さんを支える職員自身の満足が得られるよう、休暇制度の充実や省エネ対策、スマート通勤などいいと思ったことには積極的に取り組むようにしています。こうした取組みには、法人のトップである理事長からの理解が大きいと感じています。

託児所の開設や育児短時間勤務、深夜勤務免除など、出産後の職員が職場復帰しやすい環境づくりに努めた結果、出産を機に離職する職員が減りました。また、求人活動で求職者の方に法人の説明をする際にも、託児所や休暇制度等について「働きやすそう」「応募しやすい」と好評です。なかなか取組みの成果を数字で表すことは難しいですが、こういった声がまさに取組みの成果だと感じています。



総務部の中野さん、白神さん、河田さん、中村さん(左から)